

高性能エンジンケーブル

FAA(連邦航空局)認可取得 / ボーイング航空機エンジンケーブル



エンジンケーブル

MSSI(Meggitt Safety Systems)社は1957年の創設以来、軍用、航空宇宙、民間航空機分野に高周波同軸ケーブル、多芯ケーブル等、最先端の技術を活かした製品を提供してきました。このたび、新しく改良・開発された高性能エンジンケーブルは、FAA(連邦航空局)に認可され、ボーイング航空機に搭載されているエンジンに用いられております。

用途詳細

エンジンコアに用いられる既存の絶縁ケーブルは、高温かつ振動の負担が原因で、頻繁に交換が必要とされてきました。この既存の絶縁ケーブル(絶縁体材料:テフロン)は、特に高温状態にさらされるエンジンコア部分では315以上となり、およそ4~18ヶ月で性能劣化し交換が必要になります。MSSI社の高性能エンジンケーブルは、絶縁体材料にSiO₂(二酸化珪素)を採用することで、耐高温、耐振動に絶大な効果を発揮します。このケーブルを既存のエンジンケーブルと交換し、性能劣化を抑えられ、ケーブルの交換が不要となり、メンテナンスコストの大幅削減を実現します。

ケーブルタイプ	耐限界温度	チーピング&スクレーピング	製品寿命	エンジン1基あたりのケーブル重量
MSSI社製 SiO ₂ ケーブル	1093 (2000°F)	影響なし - ステンレススチール / Inconel 625 Jacketを採用	搭載航空機の寿命まで	1.335 lb
既存 テフロンケーブル	315 (600°F)	誘電体及び絶縁外皮の重量は重く 製品寿命は短い	約12ヶ月	1.995 lb

その他の航空機へ搭載用途

航空機種類	エンジンタイプ	用途
B747-400	GE CF6-80C2F	火災探知
B737-600/700/800/900	CFMI CFM56-7	火災探知
B767	GE CF6-80C2F	火災探知
A300F4-605R	GE CF6-80C2F	火災探知

MSSI社製SiO₂ケーブルは、エンジンの振動、温度トランスデューサー接合部において、その性能から多数採用されております。